

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 日東工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6651 URL <https://www.nito.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒野 透
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 加藤 伸樹 (TEL) 0561-62-3111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	143,020	7.2	10,998	18.3	11,610	22.2	8,042	△10.8
2025年3月期第3四半期	133,354	14.1	9,298	3.3	9,503	△0.0	9,014	36.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,546百万円(△7.0%) 2025年3月期第3四半期 9,185百万円(9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	211.99	—
2025年3月期第3四半期	237.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	180,736	119,121	65.1
2025年3月期	183,897	116,507	62.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 117,611百万円 2025年3月期 115,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	64.00	—	96.00	160.00
2026年3月期	—	62.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	70.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	194,000	5.0	14,500	7.9	14,900	10.2	10,000	△17.3
								263.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	40,458,000株	2025年3月期	40,458,000株
2026年3月期3Q	2,520,763株	2025年3月期	2,522,112株
2026年3月期3Q	37,936,710株	2025年3月期3Q	37,933,740株

(注)当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心に引き続きみられました。また、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども景気を下押しするリスクとなっているほか、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要な状況にあります。

当業界におきましては、設備投資について緩やかな持ち直しの動きがみられる一方、民間非居住建築物棟数は弱含んでいるほか機械受注は持ち直しに足踏みがみられます。また、工事現場の人手不足の恒常化や一部部材の規格切替に伴う需給混乱が続くなど、先行きが不透明な事業環境となりました。

このような情勢下にあつて当社グループは、前期にスタートした「2026中期経営計画」に基づき、事業拡大への挑戦、積極的な成長投資、盤石な事業・経営基盤の構築を推し進めるべく、各種施策に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間においては、企業における底堅い設備投資需要により、電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業の売上が増加しました。また、企業におけるIT投資意欲の高まりを背景に電気・情報インフラ関連 流通事業の売上が増加したほか、国内自動車市場における案件獲得により、電子部品関連 製造事業の売上が増加しました。

以上の結果、売上高は143,020百万円と前年同期比7.2%の増収、営業利益は10,998百万円と同18.3%の増益、経常利益は11,610百万円と同22.2%の増益となりました。一方、前期計上した子会社株式の取得に伴う特別利益が剥落したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,042百万円と同10.8%の減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

① 電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

(イ) 配電盤部門

配電盤部門につきましては、企業における底堅い設備投資需要や規格変更前の駆け込み需要により高圧受電設備の売上が増加した結果、売上高は54,785百万円と同9.6%の増収となりました。

(ロ) キャビネット部門

キャビネット部門につきましては、前期に計上した案件の剥落があつた一方、価格改定効果により売上が増加した結果、売上高は17,535百万円と同0.5%の増収となりました。

(ハ) 遮断器・開閉器・パーツ・その他部門

遮断器・開閉器・パーツ・その他部門につきましては、価格改定効果により売上が増加した結果、売上高は13,408百万円と同4.6%の増収となりました。

(ニ) 工事・サービス部門

工事・サービス部門につきましては、前期に計上した大型案件の剥落により、売上高は3,157百万円と同16.2%の減収となりました。

以上の結果、電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業の売上高は88,886百万円と同5.8%の増収、セグメント利益（営業利益）は8,089百万円と同11.8%の増益となりました。

② 電気・情報インフラ関連 流通事業

電気・情報インフラ関連 流通事業につきましては、加速するデータセンター建設等企業におけるIT投資意欲の高まりに伴い関連部材の売上が増加した結果、売上高は42,517百万円と同10.1%の増収、セグメント利益（営業利益）は1,773百万円と同39.1%の増益となりました。

③ 電子部品関連 製造事業

電子部品関連 製造事業につきましては、国内自動車市場における案件獲得やエアコン関連市場の需要に持ち直しがみられた結果、売上高は11,617百万円と同8.5%の増収、セグメント利益（営業利益）は1,039百万円と同57.2%の増益となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金などが減少したことにより、前連結会計年度末と比べ3,160百万円減少し、180,736百万円となりました。

負債は、仕入債務や賞与引当金などの減少により5,775百万円減少し、61,615百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当6,009百万円などによる減少がある一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8,042百万円やその他の包括利益累計額の増加497百万円などにより合計では2,614百万円増加し、119,121百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいていますが、実際の数値は今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

当連結会計年度（2026年3月期）の業績見通しにつきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日（2026年2月9日）公表しました「2026年3月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,027	29,856
受取手形、売掛金及び契約資産	42,402	43,239
商品及び製品	12,058	12,960
仕掛品	5,458	5,455
原材料及び貯蔵品	10,967	9,819
その他	2,167	2,610
貸倒引当金	△241	△272
流動資産合計	106,841	103,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,042	25,084
機械装置及び運搬具（純額）	11,057	10,881
土地	19,025	18,945
リース資産（純額）	228	187
建設仮勘定	2,514	2,704
その他（純額）	2,180	2,215
有形固定資産合計	61,049	60,018
無形固定資産		
のれん	431	445
その他	2,800	2,515
無形固定資産合計	3,232	2,961
投資その他の資産		
投資有価証券	5,970	7,509
繰延税金資産	541	310
退職給付に係る資産	4,581	4,640
その他	1,720	1,663
貸倒引当金	△39	△36
投資その他の資産合計	12,774	14,087
固定資産合計	77,056	77,067
資産合計	183,897	180,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,858	17,986
短期借入金	52	3,000
1年内返済予定の長期借入金	4,012	4,000
リース債務	137	115
未払法人税等	2,290	1,561
賞与引当金	3,781	1,664
役員賞与引当金	-	51
関係会社整理損失引当金	4	4
建物解体費用引当金	637	141
資産除去債務	588	89
その他	9,558	8,509
流動負債合計	39,920	37,124
固定負債		
長期借入金	24,010	21,000
長期末払金	36	36
リース債務	352	336
繰延税金負債	1,013	987
株式給付引当金	100	106
役員退職慰労引当金	22	26
退職給付に係る負債	1,728	1,770
資産除去債務	42	42
その他	164	182
固定負債合計	27,470	24,490
負債合計	67,390	61,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,578	6,578
資本剰余金	8,802	8,745
利益剰余金	95,382	97,415
自己株式	△3,196	△3,194
株主資本合計	107,567	109,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854	2,699
繰延ヘッジ損益	-	21
為替換算調整勘定	3,600	3,410
退職給付に係る調整累計額	2,112	1,933
その他の包括利益累計額合計	7,567	8,065
非支配株主持分	1,371	1,510
純資産合計	116,507	119,121
負債純資産合計	183,897	180,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	133,354	143,020
売上原価	97,232	103,661
売上総利益	36,122	39,359
販売費及び一般管理費	26,823	28,360
営業利益	9,298	10,998
営業外収益		
受取利息	51	45
受取配当金	193	247
受取家賃	106	102
為替差益	371	283
その他	319	198
営業外収益合計	1,043	877
営業外費用		
支払利息	116	228
減価償却費	669	3
その他	52	33
営業外費用合計	838	265
経常利益	9,503	11,610
特別利益		
固定資産売却益	330	57
投資有価証券売却益	7	17
負ののれん発生益	2,395	-
事業分離における移転利益	18	-
特別利益合計	2,752	75
特別損失		
固定資産除売却損	84	79
和解金	-	256
特別損失合計	84	335
税金等調整前四半期純利益	12,170	11,350
法人税、住民税及び事業税	3,338	3,491
法人税等調整額	△96	△192
法人税等合計	3,241	3,298
四半期純利益	8,929	8,051
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△84	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,014	8,042

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,929	8,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162	856
繰延ヘッジ損益	-	21
為替換算調整勘定	700	△194
退職給付に係る調整額	△282	△188
その他の包括利益合計	255	495
四半期包括利益	9,185	8,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,207	8,539
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業	電気・情報インフラ関連 流通事業	電子部品関連 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,030	38,617	10,706	133,354	—	133,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,219	274	25	3,519	△3,519	—
計	87,250	38,891	10,731	136,874	△3,519	133,354
セグメント利益	7,236	1,275	661	9,172	125	9,298

(注) 1 セグメント利益の調整額125百万円はセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業」セグメントにおいて、テンパール工業株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を計上しています。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,395百万円です。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含まれていません。

2 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業	電気・情報インフラ関連 流通事業	電子部品関連 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	88,886	42,517	11,617	143,020	—	143,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,653	309	24	3,987	△3,987	—
計	92,539	42,826	11,642	147,008	△3,987	143,020
セグメント利益	8,089	1,773	1,039	10,902	95	10,998

(注) 1 セグメント利益の調整額95百万円はセグメント間取引消去です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,080百万円	4,776百万円
のれんの償却額	127	205

3. 補足情報

販売の状況

(単位：百万円)

年 度	前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		比 較 増 減		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)	金 額	構成比(%)
セグメント別								
電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業								
(配電盤)	49,994	37.5	54,785	38.3	4,790	9.6	68,681	37.2
(キャビネット)	17,444	13.1	17,535	12.3	90	0.5	23,340	12.6
(遮断器・開閉器・ パーツ・その他)	12,824	9.6	13,408	9.4	584	4.6	16,901	9.2
(工事・サービス)	3,767	2.8	3,157	2.2	△610	△16.2	5,307	2.9
小計	84,030	63.0	88,886	62.2	4,855	5.8	114,230	61.9
電気・情報インフラ関連 流通事業	38,617	29.0	42,517	29.7	3,899	10.1	56,046	30.3
電子部品関連 製造事業	10,706	8.0	11,617	8.1	911	8.5	14,406	7.8
合計	133,354	100.0	143,020	100.0	9,666	7.2	184,683	100.0